



府中市立府中第六中学校

令和5年9月14日 第5号

六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

「二学期の始業式にあたって」～安心して学べる魅力ある仲間・クラスとは

校長 佐藤 光宏

長い夏休みが終わりました。有意義で楽しい夏休みとなったでしょうか。休み明けはなかなか体が動かず、集中できないことも多くあります。皆さんのなかにも、朝早く起きられない、朝食時に食欲がわかない、登校しても体がだるい、授業に集中できないなどと感じている人もいるのではないでしょうか。このような傾向がある人は、早く規則正しい生活を取り戻し、授業やさまざまな活動に集中できるよう生活のリズムを整えていきましょう。また、悩みや心配なことがある人は、必ず周りの大人や友達に相談するようにしてください。

「生活リズムを整える」。言葉で表すことは簡単ですが、行動に表すことは簡単なことではありません。ここに気になる数字があります。「16万3442名」。この数字は令和3年度に全国の中学校で30日以上欠席した生徒の数です。出現率に直すと「5.0%」で、六中でいうと各クラスに約1.7人ずつ在籍するという高い割合になっています。この数字の何割かの生徒が、夏休み明けに生活リズムが戻らず、学校を休みがちになったことも考えられます。全国の中学生のなかで、約16万3500名の仲間が学校を休みがちになっている現実があります。皆さんは、同じ中学生としてこのことをどう思いますか。

残念ながら、六中にも学校を休みがちになっている生徒がいます。集団の中で学ぶことが苦手な人は、スクールカウンセラーとの面談やサポートルームでの個別学習、けやき教室に通うなどしています。それぞれ、その人に合った学び方で頑張っています。私は、現在学校に登校しにくい生徒も含め、自分自身の成長のために学び続けてほしいと思っています。知識や教養は、自分に合った、学び方でも身につけることができますが、学校という集団生活を通して学ぶこともたくさんあります。行事や部活動、毎日のクラスでの生活などから仲間との接し方など、これから社会に出て役立つことをたくさん学べます。

私は、六中のすべての生徒が学校生活やそれぞれの学びの場を通して、学びを深め、自分自身を大きく伸ばしてほしいと願っています。そのためには、まず、一人ひとりの生徒が「何を目指して学ぶのか」という学びの目標をしっかりとって生活を送ることが大切です。そして、その思いを皆さんが共有し、互いに高め合い学び合う仲間成長することが必要です。現在、休みがちな生徒も含めて安心して学び合える仲間づくり、クラスの雰囲気づくりが豊かで深い学びにつながると考えています。自分らしい自分を発揮できるクラス、自分の居場所がある魅力的なクラス、そんなクラスを仲間とともに創り上げると、皆さんの学びはより内容のある学びに発展していくものと思います。

一人ひとりが学ぶ目標をしっかりとち、互いに応援し合う温かな雰囲気づくりを進めていきましょう。そうした雰囲気づくりが、登校しにくい状況の生徒への応援になると思います。皆さんの力で温かな雰囲気づくりを進め、すべての生徒が学校で生き生きと学べることを願っています。



今年度の校内研修では、授業改善に関する研修として、テーマは特別支援、ICT 活用があります。7月20日(木)では、特別支援についての研修を行いました。府中市教育センター巡回相談心理担当の先生から講義をいただき、WISC の読み取りを生かした教科指導の工夫について理解を深めることができました。

3年生

上級学校の先生の話聞く会

7月7日(金)に3年生を対象に上級学校の先生の話聞く会を行いました。

都立高校5校、私立高校4校の先生方に各校の特色やカリキュラムなどの説明のほか、普通科、専門学科、総合学科の違いについても説明していただきました。進路選択への興味や関心を高める機会となりました。

●令和5年度● 生徒会役員選挙

7月15日(金)に立会演説会および生徒会役員選挙が行われました。



部活動等の実績



卓球部

第9ブロック中学校卓球選手権大会 女子団体 第3位



サッカー部

第9ブロック中学校サッカー選手権大会 第3位



女子テニス部

東京都中学校テニス選手権大会出場

女子シングルス 3年女子

女子ダブルス 3年女子・1年女子



第14回多摩地区中学校体重別柔道選手権大会 第1位 3年男子